

中学 帰国生入試 国語

出題ポリシーとサンプル問題について

■出題形式

【一】説明文、【二】物語文 の計2題です。それぞれの配点は約50点です。

■出題内容

一般的な文章読解の問題です。ただし、漢字の読み書き・語句の意味・慣用句や熟語の完成など、日本語の知識を試す問題は出題しません。

■サンプル問題について

特徴的な問題を確認していただけるように、実際の試験問題よりも小問数を半分ほどに減らしてあります。実際の試験は50分間ですが、このサンプル問題の解答目安時間は30分程度です。

[SAMPLE]

帰 国 生 入 試

中学校 入学試験問題

国 語

注 意

- 1 合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は14ページにわたっています。
- 3 始めの合図があったら、解答用紙の決められたらんに、受験番号、氏名を記入してから始めなさい。
- 4 声を出して読むはいけません。
- 5 解答は解答用紙の決められたらんに筆記具ではっきりと書き入れなさい。
- 6 解答目安時間は30分です。
- 7 時計の計時機能以外の使用は認めません。
- 8 試験中、体の具合や気分が悪くなったときは、静かに手をあげなさい。
- 9 終わりの合図があったら、すぐ筆記具を置きなさい。

【一】次の文章を読み、後の問に答えなさい。

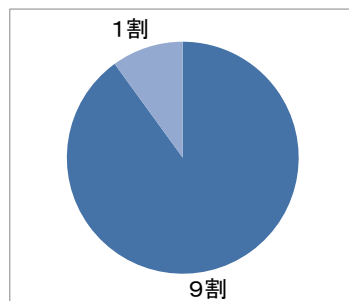
① 私達はなぜ「9割」というフレーズに惹かれるのでしょうか？ 少し控えて「8割」や、あるいは強気に出て「10割」と言ってしまうこともできるのではないのでしょうか？（中略）

「9割」が魅力的である理由を探るために、ここからゼミ方式で考えて行きましょう。では、あなたが出版してみたい架空の9割本のタイトルを提示して下さい。練習問題として、人生はお金でも地位でもなく、最後は健康であることをシニア世代に訴える本を出すとしましょう。タイトルは、9割本の雛形に則り『人生は健康が9割』としてみます。

このタイトルを書店で見た読者はどのような印象を受けるでしょうか？

『人生は健康が9割』

- ・ 人生にとって最も大切なのは健康であり、その割合は9割だ。
- ・ 人生にとって健康以外に大切なものもあり、その割合は1割だ。
- ・ 9割を占める健康について、この本でもっと知りたい。
- ・ 残り1割については、あまり興味がわかない。



要点を整理するために、このように書き出してみます。円グラフの濃い部分は、読者が注目・期待する部分を示しています。9割という割合は、全体に占めるほとんどの部分をカバーしています。健康は人生の大切な要素であるという強いメッセージが伝わってくる一方、9割は物事の全てではないので、カバーできない部分もあることが分かります。しかし、読む人は、カバーできない1割の部分にはさして注目しません。それは、経験的に

も常識的にも健康以外に大切なことだって多少あることを知っているからです。

この本を買う人は、おそらく健康に興味を持ち、日々の節制で健康に自信はあるものの、それを今後どう維持し、将来の人生設計に取り込んで行くのかを考えたい人だと思われれます。持病があって悩んでいる人や、健康に興味がない人は手に取らない書籍でしょう。

では、いっそのこと1割アップして『人生は健康が10割』としてみてはどうでしょう？

『人生は健康が10割』

- ・ 人生にとって最も大切なのは健康であり、その割合は10割だ。
- ・ 人生にとって健康以外に大切なものは何もない。
- ・ 健康は人生の10割を占めるのだから、健康でない人は救われない。
- ・ 健康以外の大切なものも、人生にはあるのではないか？

健康は、1か100かで測れるものではありません。そして人によって健康の定義や目指す健康体が異なります。その中において『人生は健康が10割』というタイトルの本を出版するのはとても勇気が要ります。そして絶望的——です。

学生達に「もし『人は見た目が10割』という本があったら買いますか？」と聞いてみたところ、全ての人がN Oだと言いました。「10割」は *All but Nothing*、全てであると同時に、逃げ場を失い追い詰められた印象を抱かせると言うのです。人間は見た目が全て、中身はゼロでも良い、これはある意味“事実”の面もあるかもしれないませんが、それではあまりにも空しく、生きていく勇気がなくなる、そう感じてしまうのです。学生達からは同様に『人生は健康が10割』とか『幸福は結婚が10割』といったタイトルの書籍があったなら、たまたま成功

した人の価値観を押し付けられたような感じでゲンナリしてしまうという意見も出ました。

これは健康本のタイトルについても同じでしょう。健康以外に重要なことはない、という書名は読者を惹き付けるどころか遠ざけてしまうことにもなるでしょう。③はこの本を読まないでしょうし、健康を手に入れたいと思って努力している人には「土台無理だ」と敬遠されてしまうからです。

(中略)

このように、「9割」というフレーズが私達の好奇心を刺激する割合であることが分かりました。好奇心を刺激するだけでなく、「1割はそれ以外の余地もある」という逃げ場を提供する安心感も抱かせる効果があります。かと言って「残り1割は何なのか?」といぶかしく思わせることもない絶妙な加減でもあるのです。

ところで、日本語話者は当たり前のように10分の1の率を「割」で言いますが、欧米などではこのような言い方はありません。野球の打率などでは「○割△分□厘」という小数点以下3桁まで言いますが、「3割バッター」「夢の打率4割」のように、名称として使う時には「割」どまりです。

英語では1割は10%、2割は20%、3割は30%といったように100分率で言うか、one-quarter、half、three-quartersのように1/4刻みで言う方法を採用しています。もしエジソンが日本人だったら、「1%のひらめきがなければ99%の努力は無駄である」とは言わず、「1割のひらめきと9割の努力」と言い換えていたかもしれません。

日本語話者は、10%と1割は同じ割合を表すことは数学的には知っていますが、これをしっかりと使い分けています。%に付く数は客観的・科学的に示された数値であると認識し、割に付く数は話者の主観の入った、大雑把な目安であると認識しています。A、天気予報の降水確率について、

「今日の降水確率は30%です。」

「今日の降水確率は3割です。」

と言われたのでは、どちらが信頼しんらいできる情報だと感じますか？ おそらく30%の方でしょう。私だったら傘かさを持って出かけます。 **B**、3割と言われると「降るかどうか微妙びみょうだから、予報士さんは適当なことを言っているのでは？」と、うがった解釈かいしゃくをしてしまい、傘を持って出かけようか非常に迷います。そして、終日雨に降られなくても30%だったならあきらめも付きますが、3割なら予報上のどんぶり勘定で予報されたような気がして、出番のない傘が重く感じられてしまいます。

これはちやうど「3割バッター」が、自分が観戦した試合で全打席ノーヒットでも許せるのに対し、もし「30%バッター」と呼ばれる選手がいて、同じようにノーヒットだったら、ヤジのひとつでも飛ばしてみたくないと似ているかもしれません。

『人生は健康が9割』という架空の本も、『人生は健康が90%』となってしまうと、とたんに数値としての信憑性しんぴやうせいが問われてしまいます。その結果「91%でも89%でもなく90%なのですか？」と疑問がわき、読者は著者に寄り添そって健康について考えることをしなくなるでしょう。そういう点から考えても「9割」は決して90%と同じ意味じゆうなんせいを持っていないと言えます。日本語には「割」という、感覚的に数を捉える概念があることで、私達は柔軟性じゆうなんせいを持って思考をすることができなのです。

(飯田 朝子『アイドルのウエストはなぜ58センチなのか』より)

設問の都合上、本文を一部変えてあります。

※ 9割本 — ここでは「○○は△△が9割」というタイトルがつけられた本のこと

3割バッター — 野球で、3割は有効なヒットを出せるバッター(打者)のこと

ノーヒット — 野球で、バッターが有効なヒットを出せなかったこと

★ 問題の中で指定する字数には、句読点、かつこ類をふくみます。

問一——線部①「私達はなぜ『9割』というフレーズに惹かれるのでしょうか」とありますが、その答えとして正しいものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 多くの人が健康が大切だと理解しているから。
- イ そのテーマについての好奇心がわきおこるから。
- ウ 成功した人の価値観を学ぶことができると思うから。
- エ 他にも大切なことがあることをよく知っているから。
- オ そのものがすべてではないという安心感を覚えるから。
- カ その他の1割の部分が何なのか気になってしまうから。

問二——線部②「絶望的」とありますが、「10割」という言葉を使うのが「絶望的」だと言うのはなぜですか。その答えとなる部分を、「から。」につながる形で本文中から二十字以内でぬき出し、最初と最後の三字を書きなさい。

問三 ③に入れるのに最も適切なものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 完全に健康な人
- イ 健康になる方法を知りたい人
- ウ 健康を意識している人
- エ 健康こそが重要だと考えている人

問四 A、Bに入れるのに最も適切なものを次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア また
- イ しかし
- ウ だから
- エ 例えば
- オ なぜなら

問 五 — 線部④ 「『3割バッター』が、自分が観戦した試合で全打席ノーヒットでも許せる」とありますが、それはなぜですか。本文中の言葉を使って二十五字以内で説明しなさい。

問 六 — 線部⑤ 「日本語には『割』という、感覚的に数を捉える概念があることで、私達は柔軟性を持って思考することができるとは、当てはまるものを次のア、エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「ポイント2倍」と「1割引」を同じように考える
- イ だれもが「五割引」よりも「50%オフ」の方が安いと考える
- ウ 「センスが2割アップして見える服」という表現に納得する
- エ テレビ番組の視聴率は「割」で示した方が分かりやすいと思う

【二】次の文章を読み、後の問に答えなさい。

(これまでのあらすじ)

母をなくしたアキコは、長年勤めていた出版社をやめ、母が経営していた食堂を改装してサンドイッチとスープの店をオープンさせた。安心できる食材を使うことにこだわり、アルバイトの「しまちゃん」と二人で店を切り盛りしている。

ある日、幼稚園ようちえんくらいの男の子を連れた、声の小さな母親がやってきた。天然酵母こうぼのサンドイッチを注文して、「子供と一緒に食べたいので、一人分でもいいですか」というので、アキコは快く、

「かまいませんよ」

と返事をした。するとその母親は、

「パンは無農薬の小麦を使っているって書いてありましたけど、本当ですか」

という。アキコは不意を突かれて一瞬、^①きよとんとしたものの、気を取り直して、

「はい、間違いまちがいがないです」

とさげすみかけた。

「はあ……、そうですか」

しまちゃんが、パンを卸おろしてもらっている工房の案内を、さっとアキコのところに持ってきた。それを手渡てわたされた母親はやっと、

「わかりました」

と納得なつとくしたようだった。ところが厨房ちゆうぼうに戻ろうとしたアキコに、また、

「使っている野菜は、すべて無農薬ですか」

と聞いてきた。

「すべてではないです。一部、低農薬のものもあります」

「えっ、それはどれですか？ 今日の野菜だとどれとどれがそうなんですか？ チキンも抗生物質こうせいぶっしつとか与えているものですか、そうだと困るんですけど」

と急に早口になって暗い顔になった。

「アレルギーがおありなのですか」

とたずねても、首を横に振る。

「そうではないんですけど、この子には変Aなものを食べさせたくないのよ」

アキコは彼女にはわからないように深呼吸をして、

「チキンは平飼いで、遺伝子組み換えの飼料や、農薬を使ったもの、抗生物質なども与えていないものを使っています」

といい、聞かれる前に店で使っているバター、オイル、砂糖、塩についても説明した。

「はあ、そうですね」

母親はしばらく黙だまっていたが、「じゃあ、無農薬じゃない野菜を教えてください」

といって、角がすり切れた布製のバッグの中から、メモを収り出してペンを取った。

「少しお待ちください」

アキコは厨房の引き出しから、仕入れノートを持ってきて野菜を確認かくにんした。

「ブロッコリー、にんじん、レタス、トマトは無農薬です。大豆、タマネギは低農薬で、アボカドは農薬を使っています」

書き終わった彼女が、

「たっくん、お豆とタマネギとアボカドは残しましょうね。ママが食べてあげるから」と男の子に暗い真顔で話しかけているのを、他の客たちは、ちらちらと見ていた。

「よろしいですか。ありがとうございます」

厨房ではしまちゃんしんみょうが、神妙な顔で下準備をしておいてくれた。何かいいたそうな顔だったが、それは一息つく時間があつたら、聞いてみよう。アキコは注文を受けたチキンサンドとスープを一人分作り、カトラリーを一人分、小さな器うつわをひとつつけて、しまちゃんに運んでもらうように頼んだ。

「わあ、おいしそうだね、ママッ」

男の子はうれしそうな声をあげて、チキンサンドを持つとうとした。

「だめ、だめよ。おててを拭ふかなくちゃっていつてるでしょ」

母親は清浄綿せいじょうめんを収り出して、丁寧ていねいに彼の手かれを拭いてやりながら、

「ママがアボカドを取ってあげるから待っていなさい」

というのを男の子は無視して、チキンサンドにかぶりついた。

「わあっ、待っていなさいっていったでしょう。アボカドは無農薬じゃないのよ。どうしてそんなことをするの」

母親はヒステリックに叫さけんだ後、とても落胆らくたんした様子だった。彼女の落胆ぶりとは正反対に、男の子は旺盛おうせいな食欲で次々に平らげている。一方、彼女は、ほとんどとろとろになっている、原形をとどめていないタマネギを、必死で小さな器に移していた。

結局、男の子はほとんどの料理を食べ、母親はチキンサンドを一口と、大豆とタマネギを食べただけだった。息子むすこが無農薬ではない野菜を口にしたのが悔やまれるらしく、会計をしているときも、

「たっくんがアボカドを食べちゃったから……」

としつこく恨み^{うらみ}がましくつぶやいていた。

その日も早々に品切れになったため、夕方五時にシャッターを下ろし、店内で休憩^{きゅうけい}用のコーヒーと紅茶でお茶にしていると、しまちゃんが昼間の母親の態度を思い出して怒^{おこ}っている。

「失礼ですよ。まるでうちが変^Bなものを出しているみたいじゃないですか」

「食べ物に関しては、神経質な人がいるからねえ。仕方がないんじゃないの」

「それにしても、あれはないんじゃないですか。あんなにうるさくいうんだったら、外食なんかしなければいいんですよ」

アキコはしまちゃんの言葉を笑いながら聞いていた。料理に使われているどの野菜が無農薬か聞かれるなんて、想像もしていなかった。

人の口に入るものを作るのは、とても責任がある。下手をしたら相手の命まで奪^{うば}いかねない行為だ。そう考えると、フルコースの料理を作っているわけではないが、恐ろしくなることもある。人の健康を損^{そこ}ねる菌^{きん}が入っていたら、大変なことになるし、そこまで考えて当然、責任を持たなくてはならない。

「無農薬^{うんぬん}云々^{うんぬん}はともかく、スープは気温が上がったら気をつけなくちゃね。あつという間に悪くなるから。しまちゃんもまだ大丈夫^{だいじょうぶ}と思わないで、少しでも変わったことがあったら、言ってね」

しまちゃんは黙ってうなずいた。今日の母親の態度には、びっくりさせられたが、世の中にはそういう人もいると、勉強させてもらった。自分が嘘^{うそ}をつけば、たとえば無農薬でもないのにそうだといってしまえば、お客さんはそれ以上、店に来ることがなくなる。店に来てくれるお客さんたちは、自分たちを信頼してくれているのだ。

④。見ず知らずの私たちを信用して来てくださるなんて」

アキコの言葉を聞いたしまちゃんは、それでも、

「でも、あの母親の態度はないですよ。お店を信用してなかったんじゃないですか」といつまでも憤慨ふんがいしていた。

「久しぶりに本気で怒ったら、なんだか体が温まってきました。血行がよくなったんでしょうか」

しまちゃんは、コーヒーと紅茶を一杯いっぱいずつ飲んだ。そして店内の「プリマドンナ」※を眺めながら、両腕りょううでをぐるぐるまわし、シャドウピッチングを繰り返していた。

店は相変わらず繁盛はんじょうしていて、なかには遠くから、

「ブログやツイッターで紹介しょうかいしている人がたくさんいたので」

と来てくれるお客さんもいる。そういわれてもアキコは、

「はあ、そうですか。ありがとうございます」

としかいえない。なかには、

「人が並んでたから入ってみただけど、ここはどういうお店ですか」

と聞いてくる年配の女性もいた。説明※をしてワンコインで食べられないとわかると、

「高いわ。帰ります」

と出ていった。それを店の隅すみで見えていたしまちゃんは、閉店しても、

「ひどいですね。店の前に黒板を出しているんだから、それを見てくれればいいのに」

と憤慨ふんがいしていた。アキコが腹を立てずに淡々たんたんとしているのを見ると、余計に腹が立ってくるのだという。

「そうね。でも考えてみたら、店の前に出しているから、必ず見てくれるって考えてしまうほうが傲慢ごうまんなのかもしれない

あれこれ聞いたとき、お店の人に、外に全部書いてあるだろうなんて顔をされたら不愉快ふゆかいよね。だから黒板も、

いちおう置いてあるくらいに考えないと」

「そうですね。せっかく来てもらっているんですからねえ」

アキコはしまちゃんじゅんぼくの、そんな純朴すなおで素直なところが好きだ。

「でもやっぱりあのおばさんの態度はよくないです」

と怒り続けていた。アキコは黙って笑うしかなかった。

(群ようこ『パンとスープとネコ日和』より)

※ プリマドンナ — 花の品種の名前。

シャドーピッチング — 野球の投球をする振りをする事。

ワンコイン — 硬貨こうが一枚。ここでは五百円のこと。

傲慢 — 人を見下す態度。

★ 問題の中で指定する字数には、句読点、かつこ類をふくみます。

問 一 — 線部①「きよとんとした」とありますが、それはなぜですか。最も適切なものを次のア～エから選

び、記号で答えなさい。

ア これまで一人分だけ注文する親子などおらず、ふしぎだったから。

イ 原料の表記が本当かと聞かれるとは思ってもみず、おどろいたから。

ウ 小麦が無農薬であるとうそをつくの、とっさに迷いが生まれたから。

エ 母親が農薬が使われているかどうか気にしているのを、意外に思ったから。

問二 ～～線部A「変なもの」、B「変なもの」が指しているものを次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア アレルギーの原因になる野菜
- イ 農薬や抗生物質が使われた食材
- ウ 健康を害してしまうような料理
- エ 大人になるまで食べてはいけないもの
- オ 使われている食材の産地が不明な商品

問三 ―線部②「彼女にはわからないように深呼吸をして」とありますが、この時のアキコの気持ちとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 母親の言葉にアッエから選んでしまったが、気持ちを切りかえようとしている。
- イ 店主として堂々としているべきだと思い、落ち着きを取りもどそうとしている。
- ウ 母親に信用されていないので、店の料理に自信を持っていることを示そうとしている。
- エ チェックしていない材料があると気がつき、正直にそのことを伝えようと決心している。

問四 ―線部③「とても落胆した様子だった」とありますが、それはなぜですか。本文中の言葉を使って四十字以内で説明しなさい。

問五 ④に入れるのに最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア おかしいわね
- イ ふしぎなものね
- ウ いいことね
- エ ありがたいわね

問 六

——線部⑤「アキコは黙って笑うしかなかった」とありますが、この時のアキコの気持ちとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 自分はそこまで気にしていないのに、しまちゃんが必要以上に怒りを感じていることがおもしろく思われたから。

イ いくら客の態度が悪かったからといって、それに対してすぐに腹を立てたしまちゃんに対して不信感を覚えたから。

ウ 自分の思いを素直に受け入れてくれるしまちゃんに感心し、自分が周囲の人にめぐまれていることを強く感じたから。

エ 腹を立てるしまちゃんの気持ちもわかるが、客を悪く言うことに完全に同意してしまうわけにはいかないと考えたから。

受験番号	
	氏名
得点	

【一】問一

イ

オ

問二

逃げ場をかせげるから。

問三

ア

問四

A エ

B イ

問五

割の付く数は、大雑把な目安だとして、いるから。

問六

ウ

【二】問一

イ

問二

A イ

B ウ

問三

ア

問四

ド	自分
を	が
食	止
べ	め
て	る
し	の
ま	も
っ	聞
た	か
か	ず、
ら	、
。	息
	子
	が
	無
	農
	業
	で
	は
	な
	い
	ア
	ボ
	カ

問五

エ

問六

エ